

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 12 月 1 日作成 第 2 版

研究課題名	急速破壊型股関節症の病態の解明
研究の対象	2008 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までに横浜市立大学附属病院で股関節に急速な骨破壊を認め骨頭切除術または人工股関節全置換術を施行した患者さん
研究目的 ・方法	股関節に急速な破壊を認めた患者さんの原因疾患を明らかにするための研究です。原因疾患には、急速破壊型股関節症 (rapidly destructive coxarthrosis: RDC) と特発性大腿骨頭壊死症 (Osteonecrosis of femoral head: ONFH)、炎症性股関節炎、感染性股関節炎が考えられ、これらを術前に見分けるのに有用な検査や所見を検証します。
研究期間	承認日 (2020 年 3 月 13 日) ~ 西暦 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>以下の日常診療で実施された項目に加え、日常診療で採取された試料の一部を使用して追加検査および実験を横浜市立大学 運動器病態学教室で行い、本研究に使用します。</p> <p>これらは、手術から最終観察時までの経過を収集します (最低観察期間は 1 年)</p> <p>患者基本情報: 年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴</p> <p>血液検査: 血算 (RBC、WBC、Plt、Hb)、凝固 (PT、APTT、D-dimer)、生化学 (AST、ALT、CK、Cre、BUN、Ca、P、Mg、ALP、HbA1c)、骨代謝マーカー (Tracp-5b、BAP、ucOC、P1NP)</p> <p>治療内容 (投与薬剤、術式)</p> <p>画像所見 (X 線, CT, MRI, 骨シンチグラフィ): 単純 X 線では大腿骨頭の消失の程度や臼蓋の破壊の程度、CT では大腿骨頭の破壊の程度や臼蓋の破壊の程度、筋や周囲の軟部組織の腫脹、関節液貯留の程度、MRI では大腿骨頭および臼蓋の信号変化の有無や、周囲組織への信号変化の波及、骨シンチグラフィでは、集積の強さと集積部位について収集します。</p> <p>関節液所見: 関節液中のサイトカイン濃度測定 (IL-6, THF-α) や C 反応性タンパク、好中球マーカーとして α デフェンシン、単球マーカーとして MCP-1、骨吸収マーカーとして TRACP5b</p> <p>組織診断 (細菌培養検査, リアルタイム PCR による細菌性 DNA の同定)</p> <p>病理学的所見 (炎症性細胞の浸潤、悪性細胞の有無、免疫組織学的所見)</p> <p>治療効果: HHS スコア、WOMAC スコア、SF-36、跛行の有無</p> <p>有害事象: 神経麻痺、深部静脈血栓塞栓症の有無</p> <p>予後: 再置換の有無、脱臼の有無、人工関節のゆるみ</p>

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 整形外科（研究責任者）崔 賢民

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-781-7922